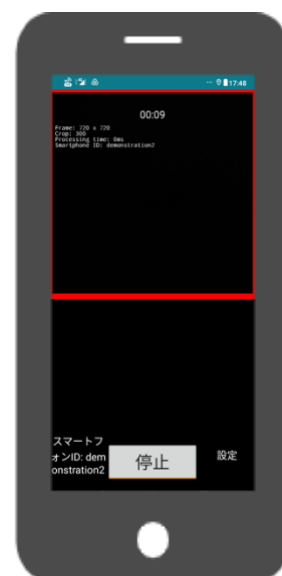


ユーザー向け 重要書類



RoadManager

RoadManager 損傷検知 管理画面操作マニュアル ver.202306

株式会社 アーバンエックステクノロジーズ

更新履歴

項番	更新日	版数	変更内容
1	2022/12/1	1.0	初版作成
2	2023/1/17	1.1	誤記の修正、損傷画像拡大表示方法の追加
3	2023/2/20	1.2	帳票出力機能改良に伴う修正
4	2023/3/6	1.3	アクセス許可が必要な URL のリストを修正
5	2023/6/3	1.4	新モデル版リリースに伴う修正
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

はじめに

- 本書をよくお読みのうえ、本製品を正しく使用してください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。
- 本書の内容については将来予告なしに変更する場合があります。
- 本書で使用している本製品の写真やイラストは実際の製品とは異なる場合があります。また、本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら当社までお問い合わせください。
- 本書の著作権は株式会社アーバンエックステクノロジーズが所有しております。本書を無断で複製したり、複製物を無断で配布したりすることは著作権法により禁じられています。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

本書について

本手順書は、「RoadManager 損傷検知（以下、RM 損傷検知）」の管理画面（以下、管理画面）の操作方法を記載したマニュアルです。

本書の表記について



警告

誤った使用をした場合、多大な損失を及ぼす内容を示します。



注意

適切に使用するために、注意すべき内容を示します。



禁止

禁止事項（やってはいけないこと）を示します。



注意

注意事項を示します。



補足

補足情報を示します。

商標および登録商標について

掲載している会社名、製品名等は、一般に各社の商標又は登録商標です。

なお、® (R) ™ TM 等は、明記していない場合があります。

目次

1. RM 損傷検知の基本的な機能と管理画面使用前の準備	6
1.1. RM 損傷検知の基本的な機能	6
1.2. RM 損傷検知使用までの流れ	7
1.3. 管理画面の主な仕様と動作環境	8
1.4. 管理画面利用前の準備とご利用上の注意点	9
1.4.1. 管理画面閲覧用 PC の準備	9
1.4.2. インターネットへの接続	9
1.5. 管理画面上の各部の名称	11
2. 管理画面 基本機能の操作手順	12
2.1. ログイン・ログアウト	12
2.1.1. ログイン	12
2.1.2. ログアウト	13
2.2. トップページ・お知らせ	14
2.2.1. 稼働中のデバイス	14
2.2.2. データの取得状況	15
2.2.3. お知らせ	15
2.3. 日々の道路巡回	16
2.3.1. 検索条件欄	16
2.3.2. マップ	20
2.3.3. 損傷詳細	21
2.4. 日々の道路巡回（新モデル版）について	23
2.4.1. 検索条件欄の主な変更点	23
2.4.2. マップ欄の変更点	27
2.4.3. 損傷詳細欄の変更点	28
2.5. 帳票出力リスト・一括帳票出力	29
2.6. （旧）帳票出力	30
2.6.1. 帳票出力リストからインポートし、表示・印刷する	30
2.6.2. 損傷 ID を手動で入力し、表示・印刷する	30
2.7. 路線評価	31

2.7.1.	路線評価の表示手順	32
2.7.2.	「リンクごとの損傷数（1 走行あたり）」の算出について	32
2.8.	路線評価（新モデル版）について	33
2.8.1.	路線評価の表示手順	33
2.9.	ヘルプ	34
3.	管理画面 オプション機能の操作手順	35
3.1.	巡回の連続画像（連続撮影機能閲覧画面）	35
3.2.	手動撮影画像（手動撮影機能閲覧画面）	39
4.	「おかしいな」と思ったら	41
5.	よくある質問	43
	MEMO	44

1. RM 損傷検知の基本的な機能と管理画面使用前の準備

1.1. RM 損傷検知の基本的な機能

道路損傷検知サービス「RoadManager」は、スマートフォンやドライブレコーダーを用いた道路の総合管理ツールです。

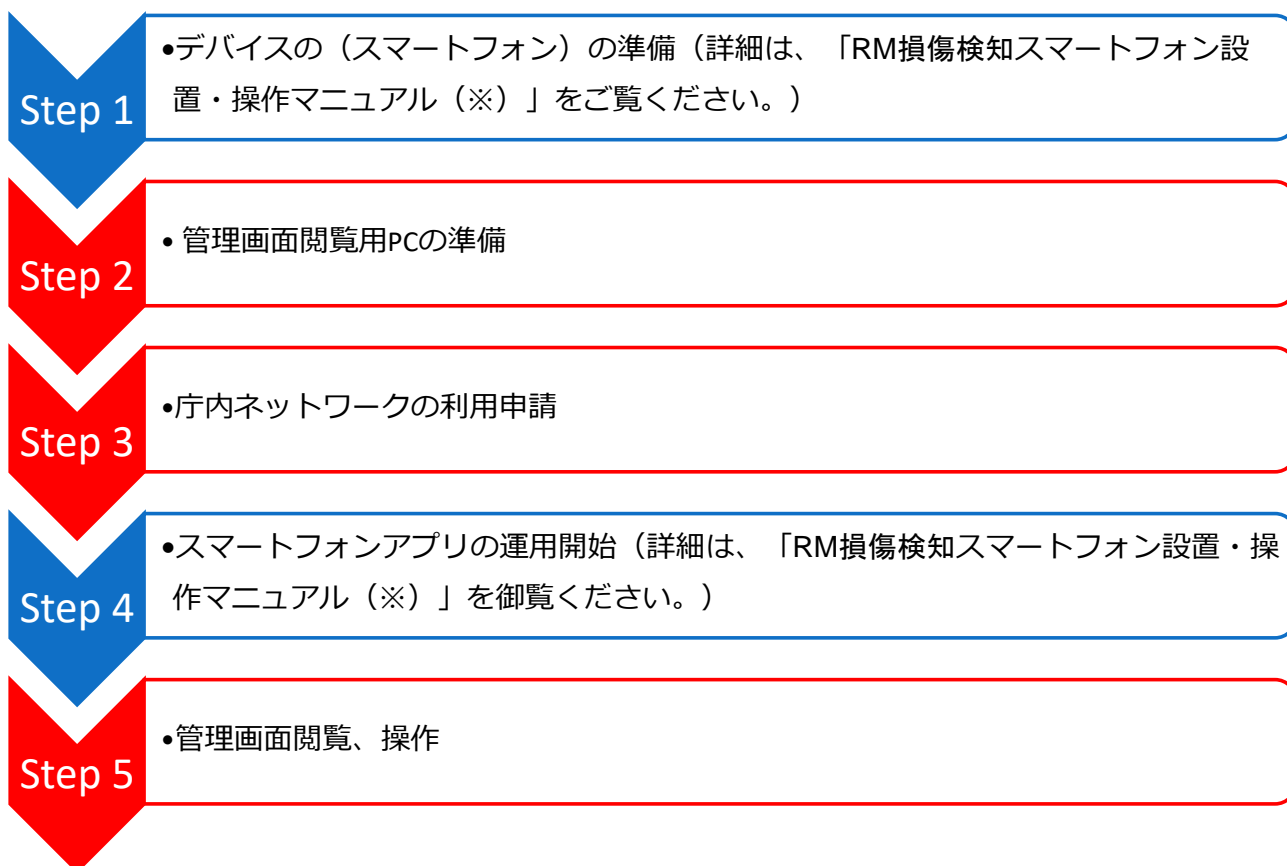
RM 損傷検知は、車内に設置したスマートフォンやドライブレコーダーから得られる画像から路面の損傷箇所を AI（人工知能）で自動検出、判別し、管理画面にて地図や損傷の詳細な情報を表示することができるサービスです。

RM 損傷検知の大まかなシステム構成は、以下のとおりです。



1.2. RM 損傷検知使用までの流れ

RM 損傷検知は、損傷を検知するためのデバイス（スマートフォン）と管理画面を閲覧するための PC の準備が必要となります。サービス利用開始までに必要な準備の流れを下記に示します。



本書では、Step 2、3、5 について記載します。スマートフォン、アプリに関しては、下記ドキュメントをご覧ください。

- RM 損傷検知スマートフォン設置・操作マニュアル（※）

※マニュアル名が、「RoadManager マニュアル スマホ準備～路面撮影」となっている場合があります。

1.3. 管理画面の主な仕様と動作環境

管理画面を閲覧するためには、PC（パソコン）が必要となります。特別なソフトウェアは不要ですが、インターネットブラウザが必要となります。動作環境は、以下のとおりです。

項番	項目	推奨動作環境
1	端末	Windows、Mac などのパソコン
2	インターネットブラウザ	Google Chrome

管理画面を閲覧・操作いただくためには、下記最低動作環境を満たす必要があります。

項番	項目	最低動作環境
1	インターネットブラウザ	FireFox、Safari

タブレットでの閲覧について

タブレットやスマートフォンでもアクセスすることは可能ですが、管理画面を正常に閲覧できない、操作できない場合がございます。パソコンでの閲覧を推奨します。

 Microsoft Edge (<https://www.microsoft.com/ja-jp/edge>) などその他のインターネットブラウザの場合、閲覧・操作が正常に行えない場合があります。

1.4. 管理画面利用前の準備とご利用上の注意点

管理画面にアクセス、操作するにあたり、下記の準備が必要となります。導入、運用前の早い段階でご準備をお願いします。

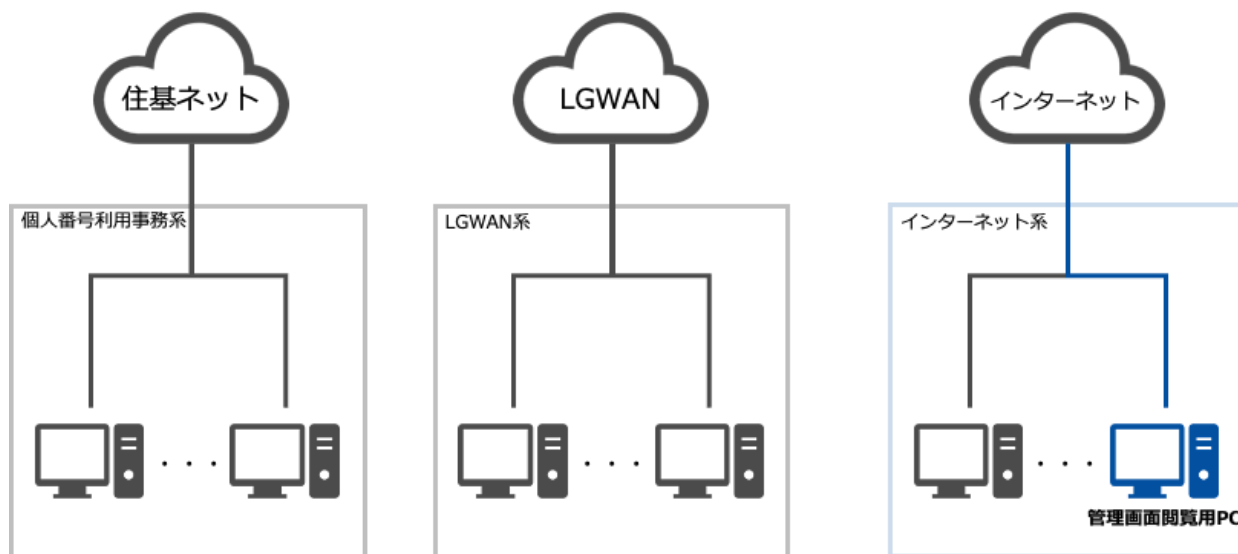
1.4.1. 管理画面閲覧用 PC の準備

以下の通り、管理画面閲覧用 PC をご準備ください。

1. 管理画面閲覧用 PC に Google Chrome (https://www.google.com/intl/ja_jp/chrome/) が導入されていない場合、事前にインストールをお願いします。インストールにあたっては、情報セキュリティ部署への依頼等が発生すると考えられるので、早めのご対応をお願いいたします。
2. 管理画面閲覧用 PC にウイルス対策ソフトウェアがすでに導入されている場合があります。それにより、管理画面 (<https://roadmanager.jp/>) の閲覧が制限される場合があります。必要に応じて、情報セキュリティ部署へご相談ください。

1.4.2. インターネットへの接続

管理画面 (<https://roadmanager.jp/>) へのアクセスは、インターネットを通じて行われます。そのため、インターネット系に管理画面閲覧用 PC を接続する必要があります。管理閲覧用 PC がインターネット系に接続されているか、利用できる状況になっているかをあらかじめ確認してください。



特に自治体の皆さまは、庁舎ネットワークのセキュリティによって、管理画面へのアクセス、または一部機能へのアクセスが制限されている場合があります。その場合は、情報セキュリティ部署へ下記の URL に関する通信を許可していただくようご依頼ください。また、許可が必要な HTTP メソッドは、全通信先において「GET」「POST」「PUT」「PATCH」「DELETE」です。

項番	通信先
1	https://www.googletagmanager.com/
2	https://www.google-analytics.com/
3	https://roadmanager.jp/
4	https://roadmanagers.jp/
5	https://*.amazonaws.com/ (後方に amazonaws.com と付く URL すべて)
6	https://*.roadmanager.jp/ (後方に roadmanager.jp と付く URL すべて)
7	https://*.roadmanagers.jp/ (後方に roadmanagers.jp と付く URL すべて)

1.5. 管理画面上の各部の名称

ヘッダー



ヘッダー
メニュー

ようこそデモユーザーさん
このアカウントで見られるデバイスは demonstration5, demonstration4, demonstration3, demonstration2, demonstration です
各デバイスの稼働状況とお問い合わせはこちら

データの取得状況

画像検出の最新時刻	走行記録の最新時刻
2022年09/15(木) 10:21	2022年10/11(火) 16:56

お知らせ

RoadManagerで検知した損傷データの出力サービス提供開始について
2022/09/01
「日々の道路巡回」メニューで閲覧できる損傷データの一括出力が可能になりました。本サービスはお申込みに応じて都度対応させていただきます。無償のオンデマンドサービスです。...

ダッシュボードにて各ユーザの管理道路のみを表示できるようになります
2022/06/28
これまでダッシュボードの「日々の道路巡回」と「路線評価」の各ページで、各ユーザが管理したい道路における損傷と、本来閲覧の必要がない管理道路以外の損傷とが混在して表示されていました。...

【重要：アプリアップデートのお願い】 スマートフォンでRoadManagerアプリ起動時の操作が簡略化しました
2022/06/20
RoadManagerアプリを立ち上げた際、「開始」ボタンを押すことなく自動で検知開始できるようになりました。「停止」ボタンを押した後に再度検知を再開する際は、「開始」ボタンを押してください。...

ダッシュボードにおけるサービス名変更について
2022/06/20
RoadManagerのダッシュボードタイトルを「MCR道路AIダッシュボード」から「RoadManager ダッシュボード」に変更しました。ダッシュボード操作への影響は特ありません。

メイン画面

メイン
メニュー



案内メモ このページのヘルプ

5, demonstration4, demonstration3, demonstration2, demonstration です
こちら

お知らせ

RoadManagerで検知した損傷データの出力サービス提供開始について
2022/09/01
「日々の道路巡回」メニューで閲覧できる損傷データの一括出力が可能になりました。本サービスはお申込みに応じて都度対応させていただきます。無償のオンデマンドサービスです。...

ダッシュボードにて各ユーザの管理道路のみを表示できるようになります
2022/06/28
これまでダッシュボードの「日々の道路巡回」と「路線評価」の各ページで、各ユーザが管理したい道路における損傷と、本来閲覧の必要がない管理道路以外の損傷とが混在して表示されていました。...

【重要：アプリアップデートのお願い】 スマートフォンでRoadManagerアプリ起動時の操作が簡略化しました
2022/06/20
RoadManagerアプリを立ち上げた際、「開始」ボタンを押すことなく自動で検知開始できるようになりました。「停止」ボタンを押した後に再度検知を再開する際は、「開始」ボタンを押してください。...

ダッシュボードにおけるサービス名変更について
2022/06/20
RoadManagerのダッシュボードタイトルを「MCR道路AIダッシュボード」から「RoadManager ダッシュボード」に変更しました。ダッシュボード操作への影響は特ありません。

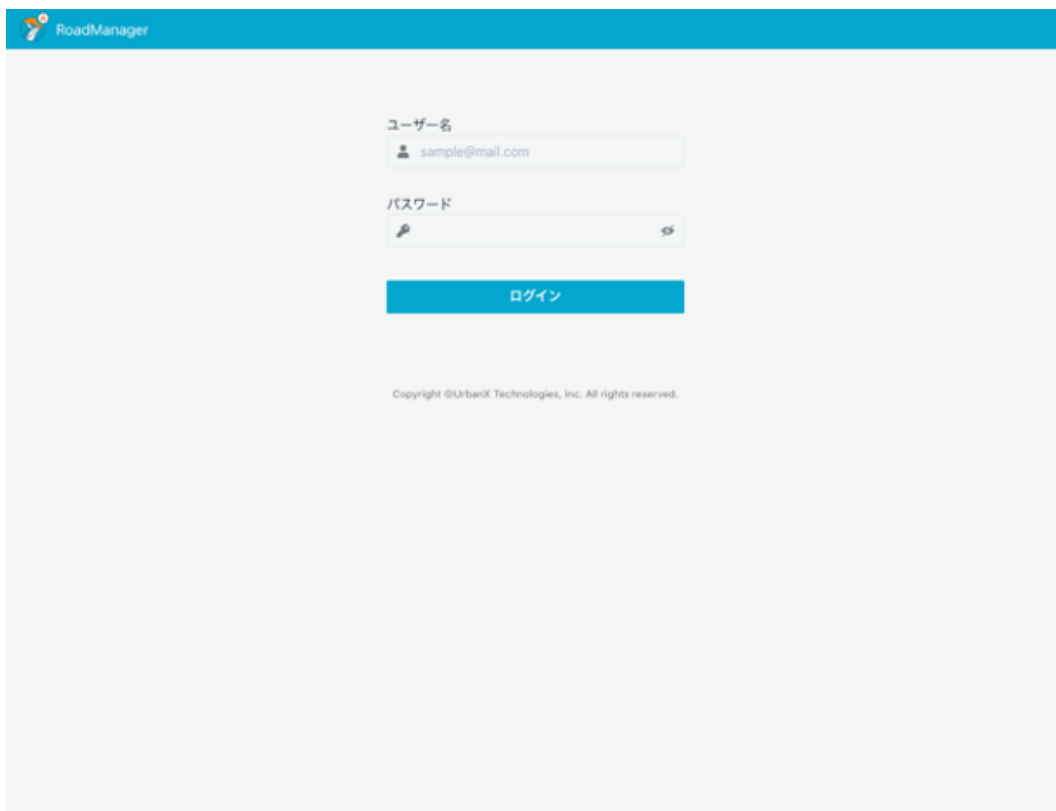
2. 管理画面 基本機能の操作手順

2.1. ログイン・ログアウト

2.1.1. ログイン

管理画面を利用するためには、事前に発行されたアカウントでのログイン作業が必要です。下記手順でログインします。

1. インターネットブラウザを起動し、管理画面（<https://roadmanager.jp/>）にアクセスします。
2. ログイン画面が現れますので、事前に発行されたアカウント情報のユーザー名、パスワードを入力し、ログインボタンを押下します。

The image shows the login page of the RoadManager system. At the top, there is a blue header with the 'RoadManager' logo and name. The main content area is light gray and contains two input fields: 'ユーザー名' (Username) with the placeholder 'sample@mail.com' and 'パスワード' (Password) with a toggle icon. Below these fields is a blue 'ログイン' (Login) button. At the bottom, there is a small copyright notice: 'Copyright ©UrbanX Technologies, Inc. All rights reserved.'

! アカウント情報がわからなくなってしまった場合は、RoadManager サポートチームまでご連絡ください。

3. ログインが成功すると、管理画面のトップページが表示されます。失敗した場合は、エラーメッセージに従って再度試行してください。

! 一度ログインが成功すると、一定期間、ログイン状態が維持されます。異なるアカウントでログインしたい場合には、一度ログアウトしてから再度ログインを実施してください。

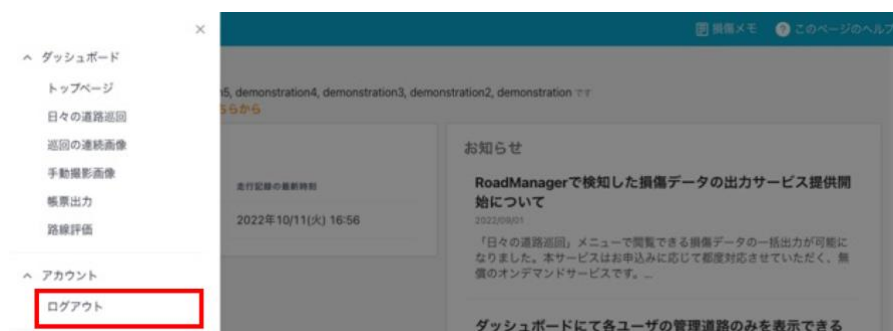
2.1.2. ログアウト

下記手順でログアウトします。

1. ヘッダー左部にあるメインメニューボタンを押下します。



2. メインメニューが現れるので、ログアウトを押下します。



2.2. トップページ・お知らせ

ログインすると、トップページが現れます。トップページでは、「稼働中のデバイス」「データの取得状況」「お知らせ」を閲覧することができます。

稼働中のデバイス

お知らせ

データの取得状況

2.2.1. 稼働中のデバイス

各デバイスの稼働状況

スマートフォンID	シリアルナンバー	画像検出の最終時刻	走行記録の最終時刻	PK
demonstration5		検出なし	2022年09/30(金) 13:12	3380
demonstration4		検出なし	記録なし	3379
demonstration3		検出なし	2022年09/15(木) 09:09	3279
demonstration2		2022年09/15(木) 10:21	2022年09/28(木) 23:59	2718
demonstration		2022年09/14(水) 11:50	2022年10/11(火) 16:56	2523

お問い合わせ内容

お問い合わせを送信

各デバイスの稼働状況と問い合わせフォーム

「稼働中のデバイス欄」には、ログインしたアカウントで各種情報を閲覧できるデバイスを確認することができます。また、「各デバイスの稼働状況とお問い合わせはこちら」を開くと各デバイスの稼働状況を一覧で閲覧することができます。画面下部に問合せフォームを設置しておりますので、稼働しているはずのデバイスから情報を取得できないなどの問題が発生しましたら、問合せフォームよりご申告ください。

2.2.2. データの取得状況

「データの取得状況」欄では、下記 2 つの時刻が表示されます。

1. 損傷検出の最終時刻

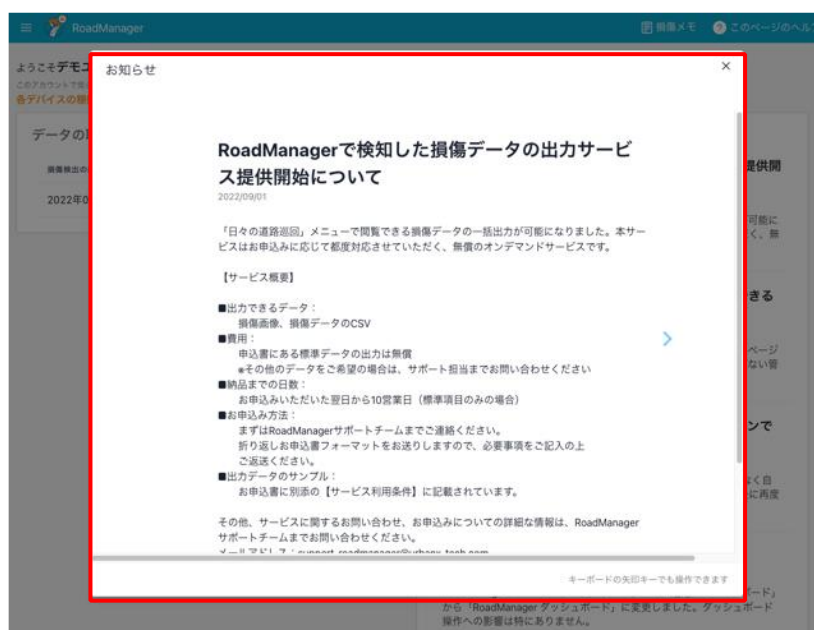
全デバイスにおける損傷を検出した最終時刻を示します。

2. 走行記録の最新時刻

全デバイスにおける走行記録の最終時刻を示します。損傷が検出されない場合でも走行していればこの時刻が更新されます。

2.2.3. お知らせ

「お知らせ」欄には、サービス運営からのお知らせが一覧で表示されています。各お知らせを開くと、詳細を確認することができます。



! 新着のお知らせは、トップページを開くと詳細情報が自動的にポップアップされます。既読になると、ポップアップされなくなります。

2.3. 日々の道路巡回

「日々の道路巡回」画面では、現行アプリで取得した損傷と新アプリで2023年6月2日以前に取得した損傷を閲覧することができます。「日々の道路巡回」画面は、下記3つの表示欄で構成されています。



2.3.1. 検索条件欄

マップ欄に損傷情報を表示するためには、検索条件欄から各種情報を指定する必要があります。

表示期間

マップ欄に表示したい期間を設定できます。デフォルトは、その日から過去8日間が設定されます。表示期間の開始日、終了日をそれぞれ日付選択カレンダーから選択することができます。日付選択カレンダーは、「ポットホール」と「亀甲状ひび割れ」の検知があった日付のみ網掛け表示になります。

また、表示期間選択欄の下部には、当該期間における「道路調査カバー率」を表示しています。



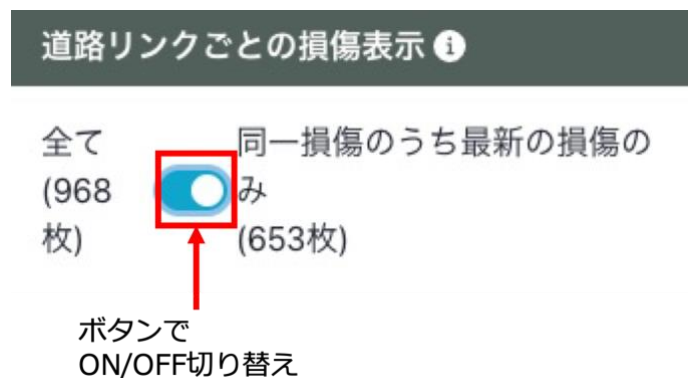
i 道路調査カバー率について

道路調査カバー率とは、その期間における対象道路・路線の走破率を示します。

$$\text{道路調査カバー率} = \frac{\text{走破した道路の区間数}}{\text{全管理道路の区間数}}$$

道路リンクごとの損傷表示

区間ごとに最新の損傷のみを表示できます。例えば、路線 A を 7 月 20 日、8 月 1 日に走行した場合、8 月 1 日のみを表示します。ボタンで ON/OFF を切り替えます。



以下の条件を満たす損傷を同一の損傷とみなします。

- 目視チェック済
- 同じ損傷種類
- 同じ道路リンク ID
- 互いに 3m 以内

損傷種類と最低信頼度設定

損傷種類ごとに絞り込んだマップ表示、及び最低信頼度の閾値変更ができます。表示させたい損傷種類をチェックすることで、マップに表示することができます。

損傷種類と最低信頼度設定 ⓘ

チェックで ON/OFF → ☒ ポットホール(50枚) 閾値:0.3 ^

60枚
0枚

1 .2 .3 .4 .5 .6 .7 .8 .9
0 0.1 0.3 0.5 0.7 0.9 1

☐ 亀甲状ひび割れ(918枚) 閾値:0.3 v

その他の損傷を取得

また、最低信頼度の閾値はスライダーを左右に動かすことで、数値を 0.0～1.0 の間で変更できます。デフォルトは 0.3 です。

損傷種類と最低信頼度設定 ⓘ

☒ ポットホール(14枚) 閾値:0.5 ← 閾値の数字が変わる

← 左右にスライドさせる →

60枚
0枚

1 .2 .3 .4 .5 .6 .7 .8 .9
0 0.1 0.3 0.5 0.7 0.9 1

☐ 亀甲状ひび割れ(918枚) 閾値:0.3 v

その他の損傷を取得

! 最低信頼度の閾値は、1 日にチェックできる枚数まで絞り込むと効率の良い運用ができます。

「その他の損傷を取得」ボタンを押下すると、ポットホール、亀甲状ひび割れ以外の下記の損傷が選択できるようになります。

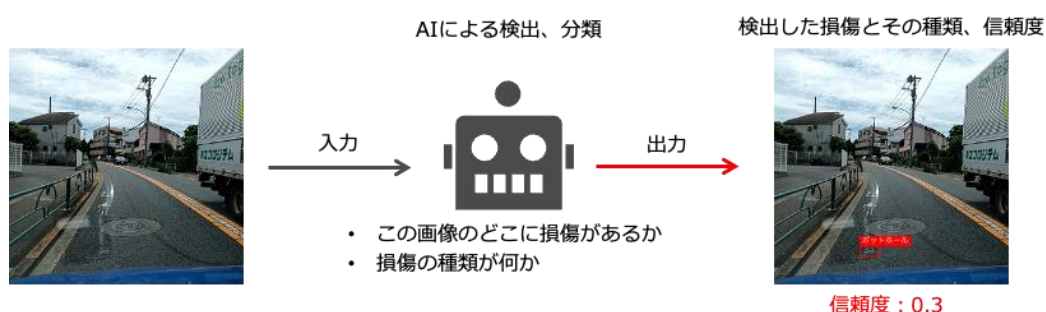
- 縦線状ひび割れ
- 横線状ひび割れ
- 白線のかすれ
- マンホール、ハンドホール
- 横断歩道のかすれ

信頼度とは

信頼度とは「予測または出力がどのくらい確実であるかの統計的な尺度」を示し、信頼度が高いほどその判定の確からしさが高いとされます（損傷の大きさや酷さなどの評価指標ではありません）。

信頼度は各損傷につき、0.0～1.0 の数値で表されます。信頼度が高いほど、AI による検出、分類の確からしさが高いといえます。

例えば、1 枚の画像が AI に入力されたとき、AI はその画像に対して、損傷の検出と分類を行います。そのとき、見つかった損傷に対して「どのくらい正しいと確信しているか」を信頼度として付与します。



対応状況


損傷の対応状況ごとに絞り込んだマップ表示ができます。

対応状況

チェックで ON/OFF

☒ 未対応(19枚) ☐ 経過観察(15枚)

☐ 補修予定(10枚) ☐ 補修済み(6枚)

 各損傷の対応状況の変更方法は、P.21「2.3.3 損傷詳細」をご覧ください。

スマートフォン ID

スマートフォン ID ごとに絞り込んだマップ表示ができます。

リストから 選択する

✓ 全て (19枚)

demonstration(1枚)

demonstration2(18枚)

全て(19枚) ▼

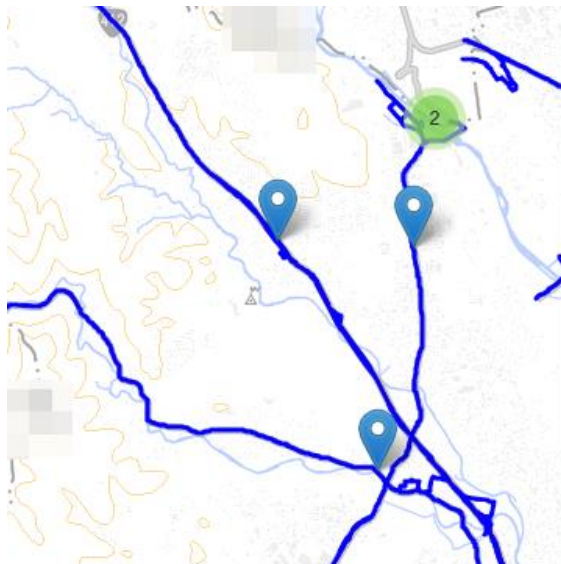
2.3.2. マップ

マップには、検索条件に合致した損傷の一覧が表示されます。詳細表示したい損傷を選ぶためには、下記の手順で絞り込んで選択します。

1. 損傷箇所数を示す**バブル**をクリックします。
2. 個別の損傷箇所を示す**ピン**をクリックします。
3. マップ表示右側に損傷の詳細が表示されます。

i マップに現れる青い軌跡は？

マップに現れる青い軌跡は、走行軌跡です。当該期間に走行した道路が青く表現されます。



2.3.3. 損傷詳細

損傷詳細欄は、下記の情報が表示されています。

The screenshot shows a mobile application interface for reporting damage. At the top, a photo of a road with a pothole is shown, with a red box and the text 'ポットホール' (Pothole) overlaid. Below the photo are two buttons: '帳票を出力する' (Output form) and '帳票出力リストに追加' (Add to output list). Below these are four radio buttons for status: '未対応' (Not responded), '経過観察' (Under observation), '補修予定' (Repair planned), and '補修済み' (Repair completed). Below the status buttons is a section for 'チェック済みフェーズ' (Checked phase) with a magnifying glass icon. Below this is a table with the following fields: 'タイムスタンプ' (Timestamp) with value '2022/07/20 12:23', '対応状況' (Response status) with value '未対応', '損傷種類' (Damage type) with value 'ポットホール', '位置情報' (Location information) with a blurred address, '住所' (Address) with value '東京都', '損傷ID' (Damage ID) with a blurred ID, 'スマートフォンID' (Smartphone ID) with value 'demonstration2', and 'メモ' (Memo) with a '[メモを編集する]' (Edit memo) link. At the bottom right is a button '損傷の間違いを報告' (Report damage error).

① 損傷画像

損傷の画像が表示されます。左右のアイコンを押下すると、損傷箇所を遷移できます。キーボードの左右矢印ボタンでも操作できます。また、損傷画像をクリックすると画像を拡大することができます。

② 「帳票を出力する」ボタン

損傷情報を帳票として、出力・印刷することができます。

③ 「帳票出力リストに追加」ボタン

損傷出力リストに追加され、一時的に保存しておくことができます。損傷出力リストの損傷は一括出力（P.29「2.5 帳票出力リスト・一括帳票出力帳票出力リスト・一括帳票出力」）、もしくは「（旧）帳票出力」画面でインポートすることもできます。

④ 対応ステータス

損傷箇所の対応状況を手動で変更できます。

⑤ チェック済みフェーズ

損傷に対するチェック状況を示しています。ポットホールのみ目視によるチェックを実施しています。

目視による判定

AIによる判定

⑥ タイムスタンプ

損傷を検知した日時です。

⑦ 対応状況

③で設定した損傷の対応ステータスです。

⑧ 損傷種類

損傷の種類が表示されます。

⑨ 位置情報

損傷箇所の緯度・経度が表示されます。

⑩ 住所

位置情報から推定した大まかな住所が表示されます。

⑪ 損傷 ID

一つ一つの損傷に付けられる唯一の ID です。

⑫ スマートフォン ID

検知したデバイスのスマートフォン ID です。

⑬ メモ

損傷に対してメモを記入、保存しておくことができます。

⑭ 「損傷の間違い報告」ボタン

損傷の種類等に誤りがあった際に、申告することができます。

i 「損傷の間違い報告」をするとどうなる？

「損傷の間違い報告」ボタンで報告をいただくと、当社にて間違い報告された損傷を識別できるようになります。間違い報告された損傷は、今後のサービス運営に活用される場合があります。合わせて、管理画面上のマップ、損傷情報からは削除されるため、ユーザーの管理画面上では閲覧できなくなります。

i 損傷画像をダウンロードするには？

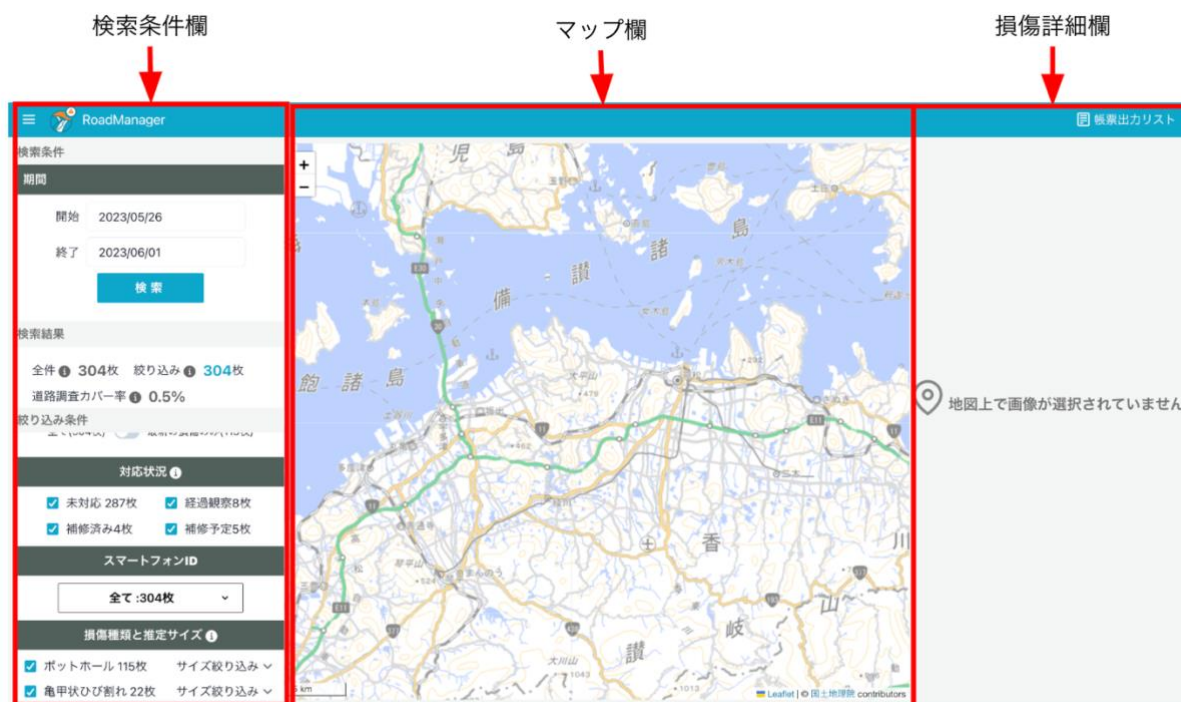
損傷詳細欄の損傷画像上で右クリックをすると、「画像をダウンロード」ボタンが表示され、ダウンロードすることができます。画像形式は png となります。



2.4. 日々の道路巡回（新モデル版）について

「日々の道路巡回（新モデル版）」画面では、**新アプリで 2023 年 6 月 3 日以降**に取得した損傷を閲覧することができます。

現行の「日々の道路巡回」画面からの変更部分は下記になります。



2.4.1. 検索条件欄の主な変更点

期間

マップ欄に表示したい期間を設定できます。デフォルトは、その日から過去 7 日間が設定されます。表示期間の開始日、終了日をそれぞれ日付選択カレンダーから選択し**検索ボタン**を押すとデータが取得されます。日付選択カレンダーは、「ポットホール」と「亀甲状ひび割れ」の検知があった日付のみ網掛け表示になります。

検索結果欄

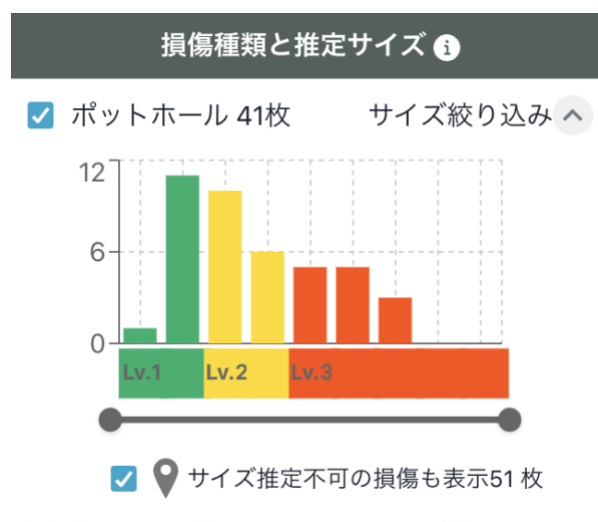
選択した期間の損傷全ての件数、条件で絞り込みをした損傷の件数が表示されます。



損傷種類と推定サイズによる絞り込み

損傷種類ごとに絞り込んだマップ表示、及び損傷の推定サイズに絞っての変更ができます。表示させたい損傷種類、サイズを選択することで、閲覧したい損傷・推定サイズのみをマップ上に表示することができます。

また、推定サイズをレベル別に色分けしています。この色分けは、マップ上に表示される損傷箇所を示すピンにも反映されています。推定サイズによる重大度が可視化されることで、対応の優先順位付けにお役立ていただけます。



損傷サイズのレベルについて

損傷サイズのレベルは、当社独自の指標を設定しております。ポットホール、亀甲状ひび割れのサイズのレベルについては、下記の通り設定しております。

■ポットホール

Lv.1 : ~10cm / **Lv.2** : 10~20cm / **Lv.3** : 20cm~

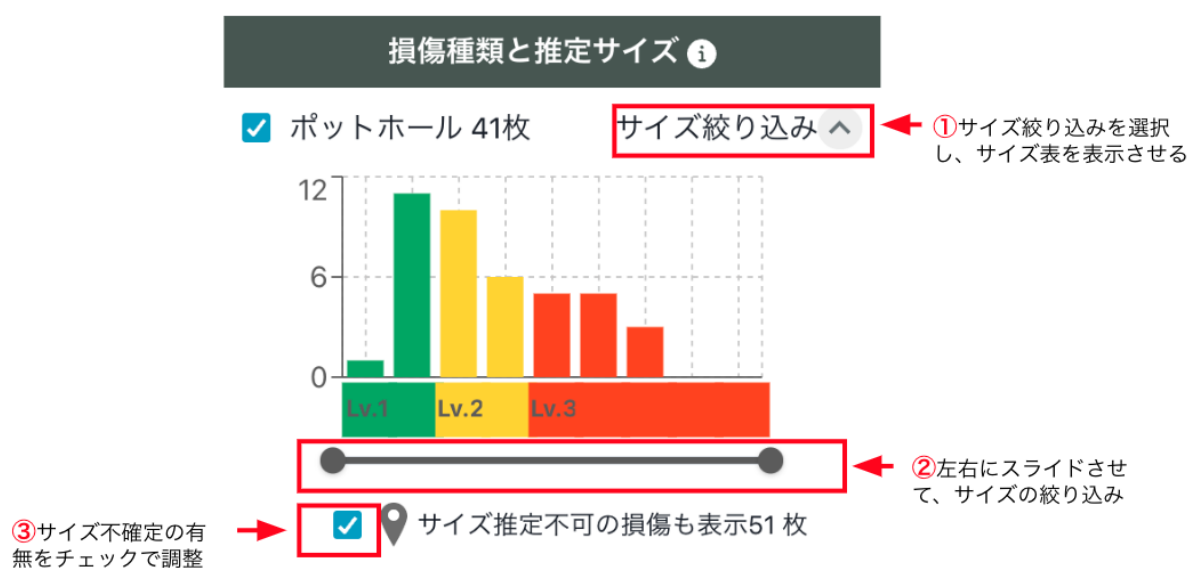
■亀甲状ひび割れ

Lv.1 : ~1.5m / **Lv.2** : 1.5~3m / **Lv.3** : 3m~

推定サイズによる絞り込み方法

推定サイズの絞り込みの右にある矢印を選択します（①）はスライダーを左右に動かすことで、閲覧したい損傷サイズ（②）を絞り込むことができます。デフォルトは、絞り込みはされず、全サイズ表示されています。となっております。



また、スライダー下部のチェックボックスにて、サイズ推定不可の損傷表示の有無を選択することができます（③）。



! 推定不可の損傷とは、損傷のサイズが小さすぎる、不鮮明であるなど理由で、推測ができない損傷のことです。

2.4.2. マップ欄の変更点

マップ上の損傷位置に記載される損傷ピンの色とアイコンが損傷の種類、推定のサイズによって異なります。

	Lv.1	Lv.2	Lv.3	推定不可
ポットホール				
亀甲状ひび割れ				

2.4.3. 損傷詳細欄の変更点

損傷詳細欄は、下記の情報が表示されています。



The screenshot displays a mobile application interface for reporting damage. At the top, a photo of a road with a pothole is shown, with a red label 'ポットホール' (Pothole) overlaid. Below the photo are two orange buttons: '帳票を出力する' (Output form) and '帳票出力リストに追加' (Add to output list). Underneath these are four radio buttons for status: '未対応' (Selected), '経過観察' (Observation), '補修予定' (Repair planned), and '補修済み' (Repair completed). The form then lists various fields: 'チェック済みフェーズ' (Checked phase) with a monitor icon, 'タイムスタンプ' (Timestamp) showing '2023/05/30 08:08', '対応状況' (Response status) as '未対応', '損傷種類' (Damage type) as 'ポットホール', '推定サイズ' (Estimated size) as 'サイズ不明' (Size unknown), '位置情報' (Location info), '住所' (Address), '損傷ID' (Damage ID), 'スマートフォンID' (Smartphone ID) as 'rm-dev-newapp', and a 'メモ' (Memo) field with a link to edit. At the bottom right is an orange button '損傷の間違いを報告' (Report damage error).

未対応	経過観察	補修予定	補修済み
チェック済みフェーズ		🖥️ → 👁️	
タイムスタンプ		2023/05/30 08:08	
対応状況		未対応	
損傷種類		ポットホール	
①	推定サイズ	サイズ不明	
位置情報		[位置情報]	
住所		[住所]	
損傷ID		[損傷ID]	
スマートフォンID		rm-dev-newapp	
メモ		[メモを編集する]	
[損傷の間違いを報告]			



① 損傷サイズ

画像データと一緒に損傷のサイズを確認ができます。

2.5. 帳票出力リスト・一括帳票出力

帳票出力リストは、損傷を一時的に保持、記憶する機能です。損傷詳細欄にある「帳票出力リストに追加」ボタンを押下すると追加されます。帳票出力リストに追加された損傷は、ヘッダーメニューの「帳票出力リスト」を押下すると表示されます。



各損傷の右側にある①  ボタンを押すと帳票出力リストから削除することができます。まとめて削除したい場合には、各損傷の左側にあるチェックボックスにチェックを入れて、②  ボタンを押すと一括で削除することができます。

また、帳票出力リストから一括で帳票出力することができます。各損傷の左側にあるチェックボックスにチェックを入れて、「帳票を出力する」ボタンを押下してください。一度に生成できる帳票は、4枚までとなります。

出力した帳票をファイルとして保存したい場合

出力した帳票を保存したい場合は、ブラウザのプリント機能を使って PDF 保存するようにしてください。

帳票出力リストの保存期間

帳票出力リストは、ログアウトすると削除されます。一時的な保存機能としてご使用ください。

2.6. (旧) 帳票出力

! (旧) 帳票出力機能は、従来の出力機能です。新しくリニューアルされた帳票出力機能を利用する場合は P.29「帳票出力リスト・一括帳票出力」をご覧ください。

「帳票出力」画面では、損傷 ID を入力した損傷箇所の地図と詳細情報を印刷・PDF 化できます。印刷物は指示書としてご使用いただけます。損傷の表示・印刷は以下の 2 通りで実施できます。

1. 帳票出力リストからインポートし、表示・印刷する
2. 損傷 ID を手動で入力し、表示・印刷する

① 損傷IDを入力

② + 入力欄を追加

③ 帳票出力リストから2つのIDをインポート


④ 印刷する

⑤ 印刷プレビューを表示する

2.6.1. 帳票出力リストからインポートし、表示・印刷する

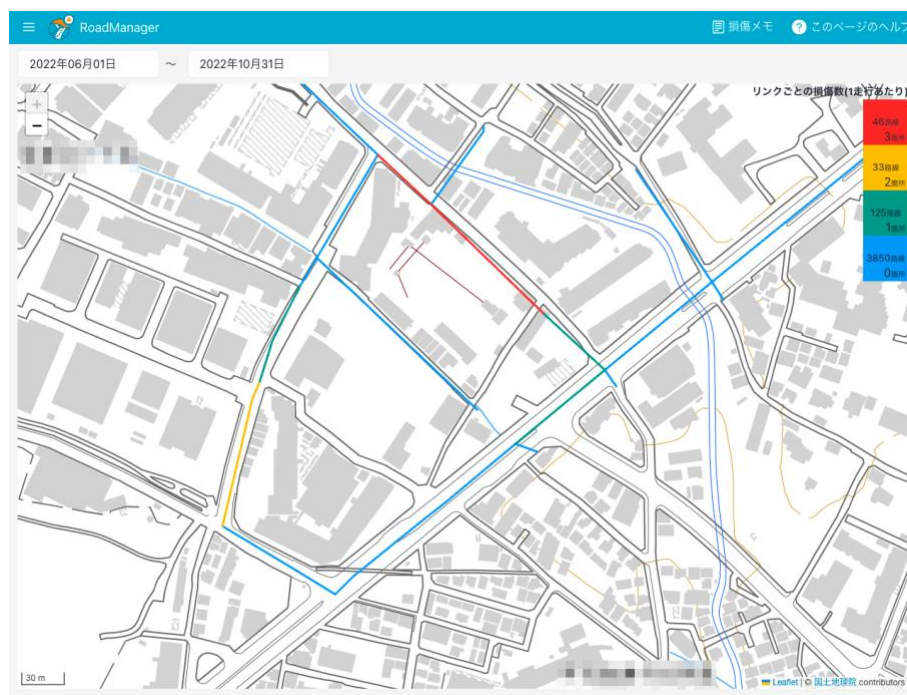
1. ③「帳票出力リストからインポート」ボタンから、損傷 ID をインポートします。インポートされると、画面下部に損傷情報が表示されます。
2. ④「印刷する」ボタンから印刷します。インターネットブラウザの印刷ウィンドウが開きますので、利用用途に応じて設定してください。

2.6.2. 損傷 ID を手動で入力し、表示・印刷する

1. ①「損傷 ID 入力欄」に、印刷したい損傷 ID を入力し、⑤「印刷プレビューを表示する」ボタンを押下します。読み込まれると、画面下部に損傷情報が表示されます。入力欄を追加したいときには②「入力欄を追加」ボタンを押下します。入力した損傷について、表示、印刷から除外したい場合には、入力欄右の  ボタンを押下してください。
2. ④「印刷する」ボタンから印刷します。インターネットブラウザの印刷ウィンドウが開きますので、利用用途に応じて設定してください。

2.7. 路線評価

「路線評価」画面では、現行アプリで取得したデータと新アプリで 2023 年 6 月 2 日以前に取得したデータを損傷検知数に基づき、リンクを色分けしてマップ上に表示する機能です。各リンクの損傷状態を可視化することができます。



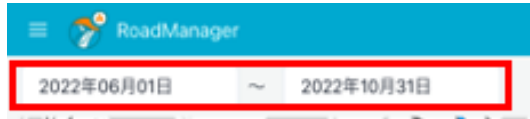
i リンクとは

RoadManager におけるリンクとは、デジタル道路地図データベース（DRM-DB）上で定義されたリンクと同一です。リンクは、ノード（交差点その他道路網表現上の結節点など）とノードの間の道路区間を指します。詳しくは、一般社団法人日本デジタル地図協会のホームページをご覧ください（<https://www.drm.jp/database/expression/>）。

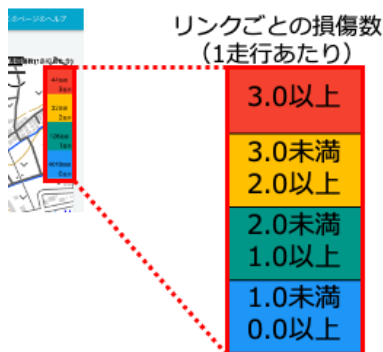
2.7.1. 路線評価の表示手順

以下の手順で、マップ上に路線評価を表示します。

1. 画面上部の期間選択欄にて、対象とする期間を選択します。



2. 色分けされたリンクがマップ上に描画されますので、移動、拡大/縮小をして各リンクの評価を閲覧します。
3. 画面右上には、評価ごとのリンク数が表示されます。



2.7.2. 「リンクごとの損傷数（1 走行あたり）」の算出について

路線評価の色分けのもととなる指標「リンクごとの損傷数（1 走行あたり）」について、解説します。

「リンクごとの損傷数（1 走行あたり）」は、以下の計算式に基づいて算出されます。

$$\text{リンクごとの損傷数（1 走行あたり）} = \frac{\text{選択期間内のポットホール・亀甲状ひび割れの検知数の合計値}}{\text{選択期間内の走行回数の合計値}}$$

2.8. 路線評価（新モデル版）について

「路線評価（新モデル）」画面では、**新アプリで 2023 年 6 月 3 日以降に取得したデータ**を損傷傷検知の数に基づき、各リンクを色分けしてマップ上に表示する機能です。各リンクの損傷状態を可視化することができます。現行の「路線評価」画面からの変更部分は下記になります。



2.8.1. 路線評価の表示手順

以下の手順で、マップ上に路線評価を表示します。

1. 画面上部の期間選択欄にて、対象とする期間を選択し**検索ボタン**を押します。

2. 色分けされたリンクがマップ上に描画されますので、移動、拡大/縮小をして各リンクの評価を閲覧します。
3. 画面右上には、評価ごとのリンク数が表示されます。

2.9. ヘルプ

RoadManager に関する疑問や悩みをユーザーご自身で解決できるように「ヘルプサイト」を用意しています。ヘルプサイトへのアクセス方法は、以下の2通りあります。

1. メインメニューのヘルプからアクセスする。



ヘルプサイトのトップページが表示されます。

2. 各画面のヘッダーメニュー右部からアクセスする。



各画面に関連したヘルプページが表示されます。

3. 管理画面 オプション機能の操作手順

RoadManager では、基本機能のほかに「連続撮影機能」と「手動撮影機能」をオプション機能として提供しています。本章では、各機能の閲覧画面の操作手順を記載します。

i 「連続撮影機能」「手動撮影機能」とは

「連続撮影機能」とは、RM 損傷検知アプリを起動して走行している間、連続して静止画像を撮影しておき、管理画面で過去の記録画像を閲覧することができる機能です。

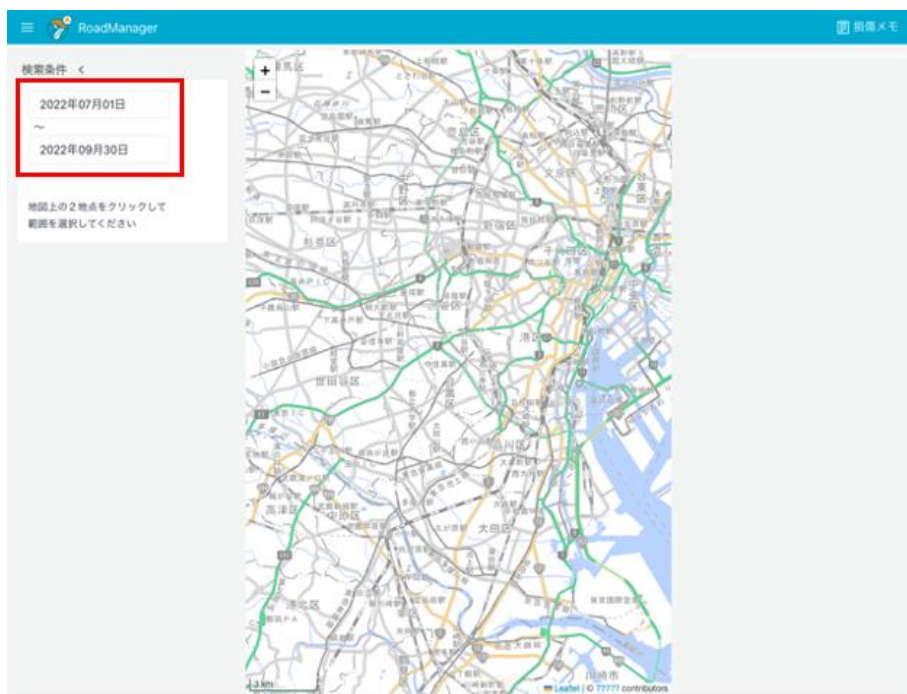
「手動撮影機能」とは、RM 手動撮影アプリ内で撮影した画像をアップロードすると、管理画面にて地図、撮影日時、位置情報（緯度経度）とともに、閲覧と印刷ができる機能です。

両機能ともご利用いただくためには、オプション契約が必要となります。詳しくは RoadManager サポートチームまでお問合せください。

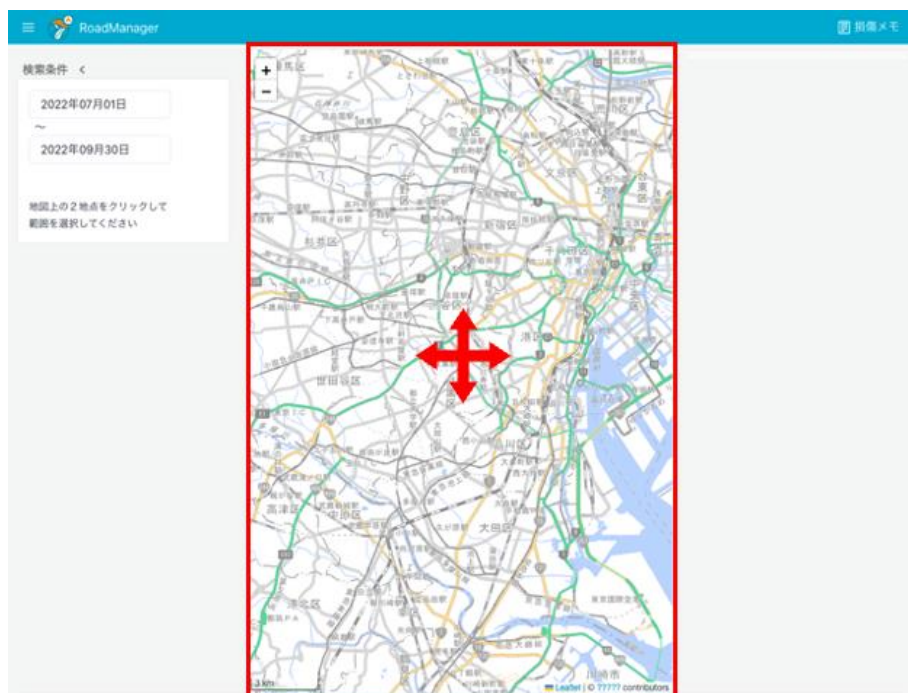
3.1. 巡回の連続画像（連続撮影機能閲覧画面）

「巡回の連続画像」画面では、連続撮影機能で撮影された画像を閲覧することができます。画像を閲覧するための操作手順は、以下のとおりです。

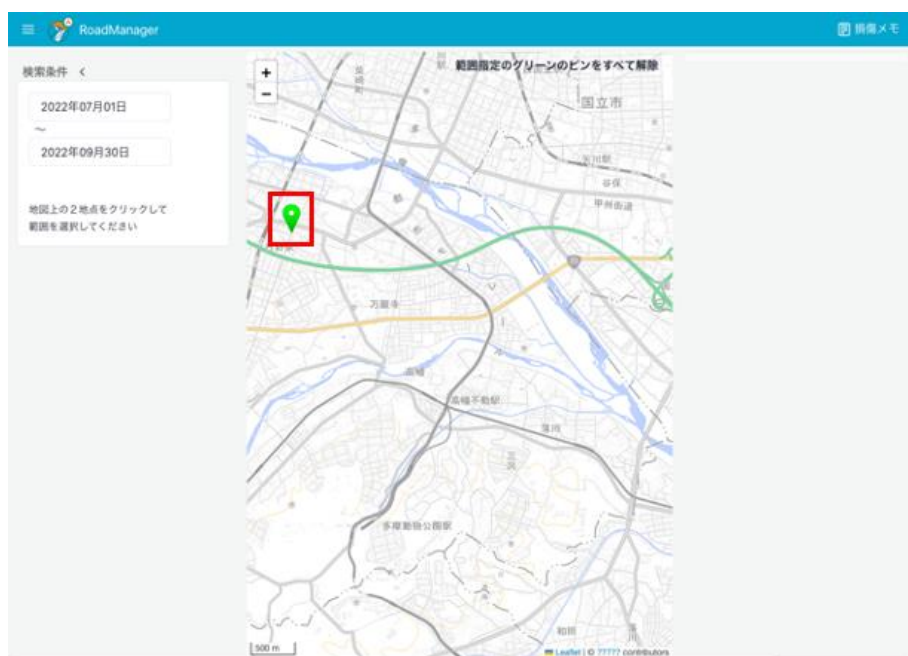
1. 検索条件欄から、画像を閲覧したい期間を選択します。



2. マップ上でドラッグ（マウスのボタンを長押ししたままカーソルを動かす）し、画像を取得したいエリアに移動させます。拡大/縮小することも可能です。

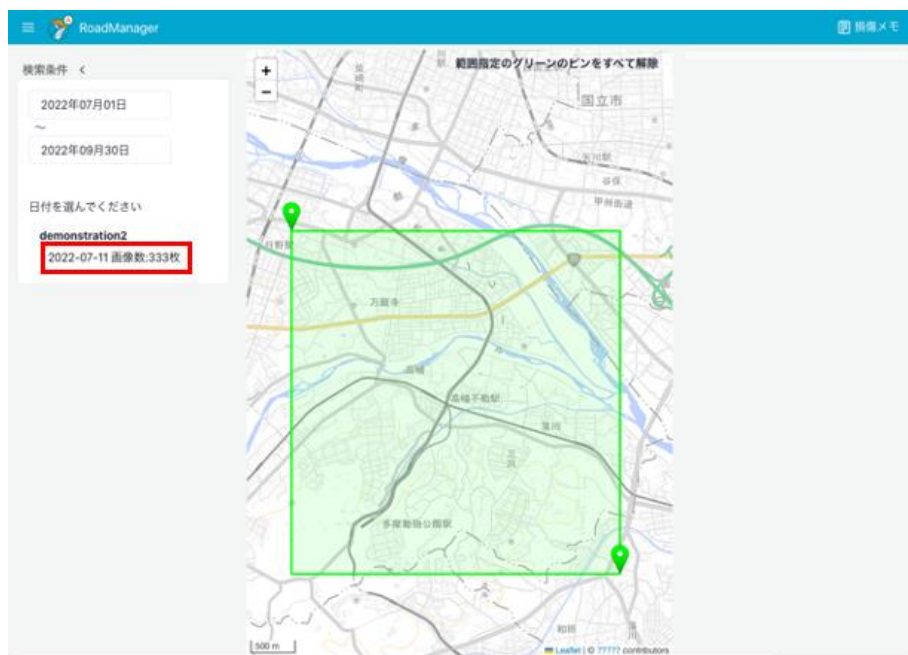


3. 連続画像を取得、表示させたいエリアを選択します。連続撮影画像は、対角上 2 地点をマップ上で選択することで、そのエリア内の画像を取得、閲覧することができます。まずは、1 点をマップ上でクリックし、選択します。選択すると緑色のピンがマップ上に描画されます。

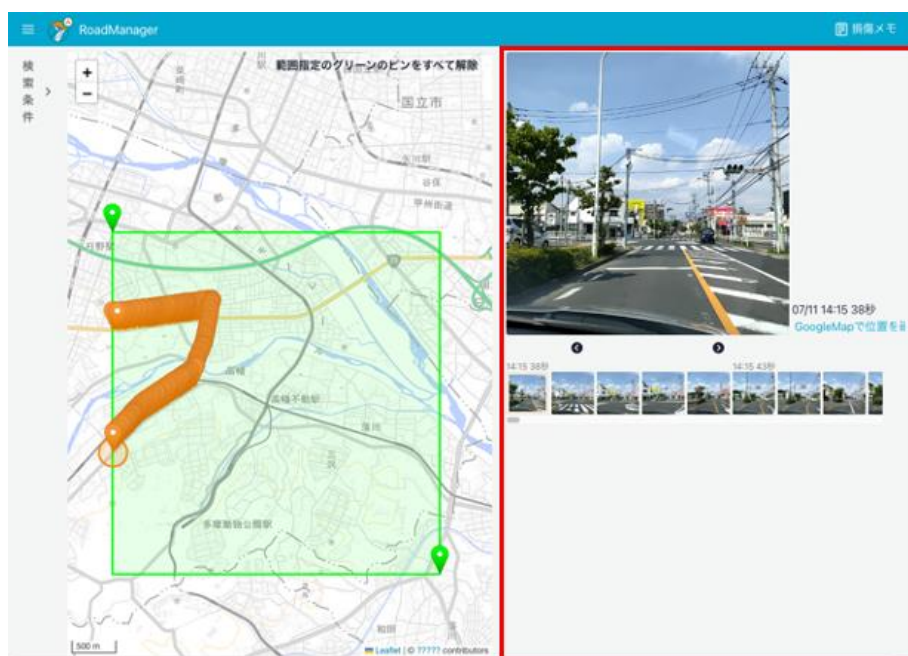


4. その後、もう 1 点をマップ上でクリックし、選択します。同じく緑色のピンがマップ上に描画され、取得・表示するエリアの範囲が緑色の矩形で描画されます。
5. 画像の取得が始まりますので、しばらくそのまま待ちます。

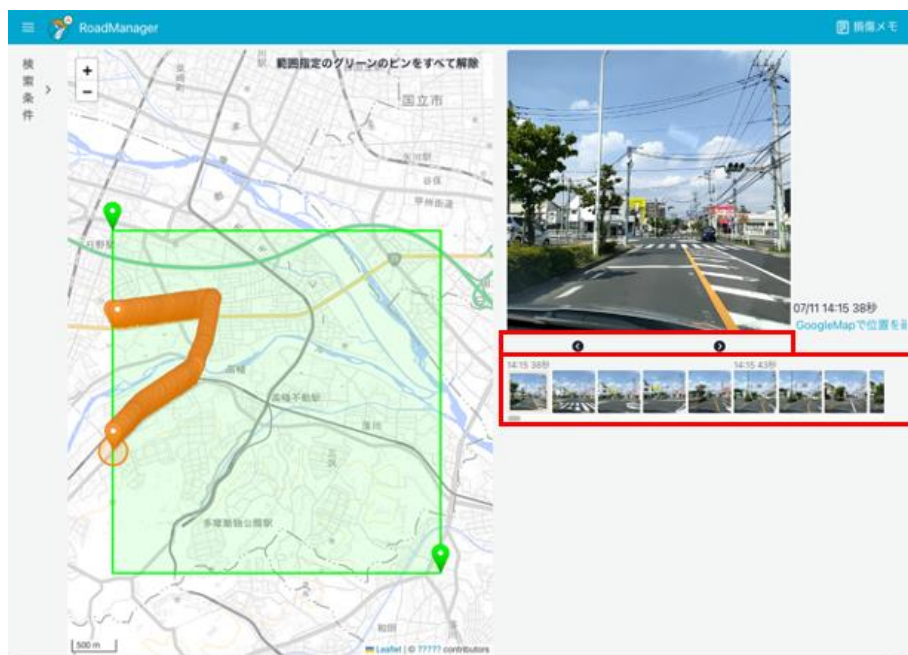
6. 取得が完了すると、スマートフォン ID、日付ごとにリスト化されます。表示したいスマートフォン ID/日付を選択し、マップ上に表示します。



7. マップ上には、各画像の撮影位置がオレンジ色のピンで描画されます。マップ上に描画されたオレンジ色のピンを選択すると、画面右部に画像が表示されます。撮影した位置を Google Map で表示することも可能です。



8. 表示する画像は、ボタン、もしくは「タイムライン」で切り替えることができます。時系列で並んでいるため、パラパラ漫画のように連続的に画像を切り替えて閲覧することができます。



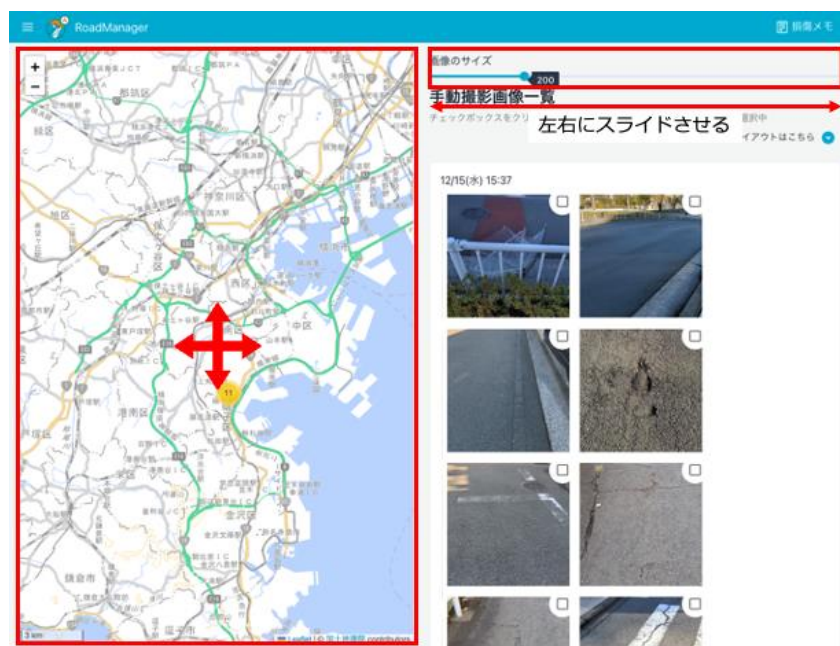
9. エリア選択を解除する場合には、範囲指定に使用した緑色のピンを再度クリックして削除するか、「範囲指定のグリーンのピンをすべて削除」をクリックします。

3.2. 手動撮影画像（手動撮影機能閲覧画面）

「手動撮影画像」画面では、手動撮影アプリで撮影、アップロードされた画像を閲覧することができます。各撮影画像を閲覧する操作手順は、以下のとおりです。

1. マップ上でドラッグ（マウスのボタンを長押ししたままカーソルを動かす）し、画像を取得したいエリアに移動させます。拡大/縮小することも可能です。

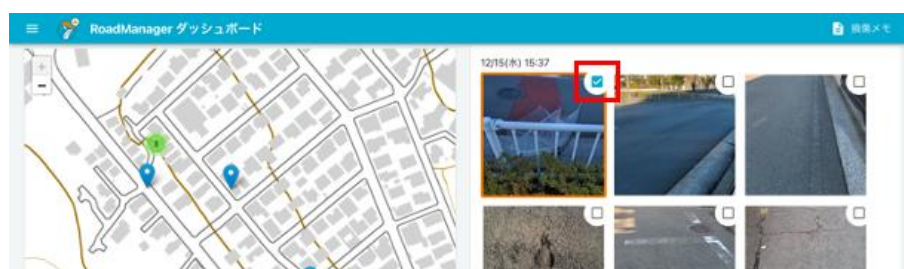
また、サムネイル画像の表示サイズを「画像のサイズ」のスライダーを使って調整することができます。



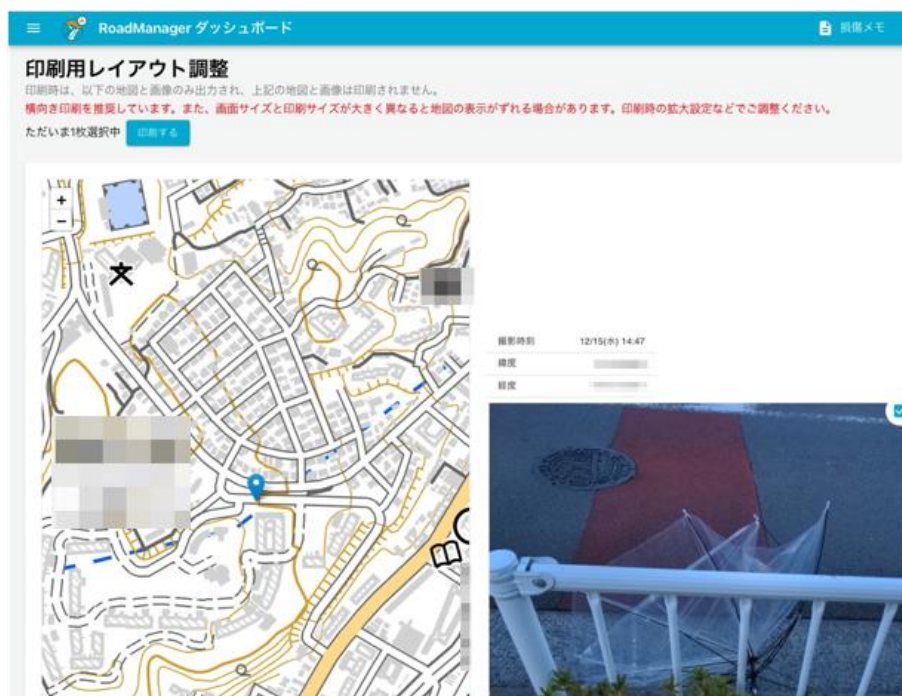
2. マップ上のバブルをクリックすることで、マップを拡大していくことも可能です。また、マップ上の各ピンを選択すると、画像一覧画面にて、選択されたピンに対応する画像がオレンジ色の枠でマーキングされます。



3. 手動撮影画像一覧から、閲覧、帳票出力したい画像を選択します。選択したい画像の右上にあるチェックボックスをクリックし、チェックを入れます。



4. 画面下部にスクロールすると、選択された画像、撮影時刻、緯度、経度が表示されます。「印刷する」ボタンを押下すると、帳票として出力、印刷することができます。



4. 「おかしいな」と思ったら

項番	このようなときは…	ここをお調べください
1	管理画面にアクセスできない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 使用している端末が Google 検索等、他のサイトにアクセスできるか確認してください。 2. 管理画面の URL を再度確認し、正しいものかをお確かめください。 3. 庁舎ネットワークのセキュリティによって、管理画面へのアクセス、または一部機能へのアクセスが制限されている場合があります。申請内容等をご確認ください（詳しくは P. 9「1.4.2 インターネットへの接続」参照） 4. ウイルス対策ソフトウェアをご利用の場合は、アクセス制限等の設定を見直してください。
2	ログインできない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 庁舎ネットワークのセキュリティによって、管理画面へのアクセス、または一部機能へのアクセスが制限されている場合があります。申請内容等をご確認ください（詳しくは P. 9「1.4.2 インターネットへの接続」） 2. ウイルス対策ソフトウェアをご利用の場合は、アクセス制限等の設定を見直してください 3. 入力したユーザー名、パスワードが正しいものかご確認ください。文字はすべて半角英数字、記号です。大文字小文字の差異も検知しますので、正確に入力してください。
3	「日々の道路巡回」画面で、マップ上に損傷が表示されない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 検索条件欄で指定した対象期間、スマートフォン ID において、RM 損傷検知アプリを運用していたかをご確認ください。 2. 検索条件欄で指定した対象期間、スマートフォン ID において、「その他の損傷」がないかを確認してください。路面状態によっては、ポットホール、亀甲状ひび割れが検知されない場合もあります。 3. 検索条件欄で指定された対象の件数が多すぎるとうまく表示されない場合がございます。対象期間を短くして、再試行してください。

4	「路線評価」画面で、各リンクの評価がマップ上に描画されない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 指定した対象期間において、RM 損傷検知アプリを運用していたかをご確認ください。 2. 指定した対象期間が長すぎると、データ取得が完了しない場合があります。対象期間を短くして、再試行してください。
5	メインメニューに「巡回の連続画像」画面、「手動撮影画像」画面へのリンクが存在しない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「連続撮影機能」及び「手動撮影機能」は、別途利用申込が必要なオプション機能です。利用申込が完了しているか、ご確認ください。 2. 利用申込後もメニューに反映されない場合には、RoadManager サポートチームまでご連絡ください。
6	「巡回の連続画像」画面にて、撮影画像の取得ができない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 指定した対象期間、対象デバイスにおいて、連続撮影機能オプションが設定された RM 損傷検知アプリを運用していたかをご確認ください。 2. 指定した対象期間が長すぎたり、対象エリアが広すぎたりすると、データ取得が完了しない場合があります。対象期間を短くしたり、対象エリアを狭めたりして、再試行してください。
7	「手動撮影画像」画面にて、撮影したはずの画像が一覧に表示されない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. RM 手動撮影アプリを運用していたかをご確認ください。 2. RM 手動撮影アプリにて、「画像アップロード」が済んでいるかをご確認ください。
8	ヘルプサイトにアクセスできない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 使用している端末が Google 検索等、他のサイトにアクセスできるか確認してください。 2. ヘルプサイトの URL を再度確認し、正しいものかをお確かめください。 3. 庁舎ネットワークのセキュリティによって、管理画面へのアクセス、または一部機能へのアクセスが制限されている場合があります。申請内容等をご確認ください（詳しくは P. 9「1.4.2 インターネットへの接続」参照） 4. ウイルス対策ソフトウェアをご利用の場合は、アクセス制限等の設定を見直してください。



ヘルプサイトには、上記のほかにも解決策や操作方法を掲載しています。

<https://help.roadmanager.jp/>

5. よくある質問

Q1. ブラウザは Google Chrome を使用しないといけないのでしょうか？

A1. 快適な閲覧・操作のため、Google Chrome の導入をお願いしております。もし、Google Chrome のご利用が難しい場合、Firefox や Safari でも動作できることを確認できておりますので、ご検討ください。ただし、Microsoft Edge などのブラウザは閲覧・操作が正常に行えない場合がありますのであらかじめご了承ください。

Q2. 管理画面を閲覧することができません。どうしたらよいのでしょうか？

A2. ウイルス対策ソフトやネットワーク制限が影響している可能性があります。P. 9「1.4 管理画面利用前の準備とご利用上の注意点」をご確認の上、必要に応じて関係部署に依頼してください。

! ヘルプサイトには、上記のほかにも解決策や操作方法を掲載しています。

<https://help.roadmanager.jp/>

MEMO



株式会社 アーバンエックステクノロジーズ

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-12-2

クロスオフィス渋谷 706

Mail (RoadManager サポートチーム) : support-roadmanager@urbanx-tech.com

<https://roadmanager.jp/>

<https://www.urbanx-tech.com/>